

月単位の週休2日工事【現場閉所】の実施について

- 1) 本工事は、月単位の「週休2日工事」の対象工事である。
- 2) 受注者が月単位の週休2日の施工を行う希望がある場合、工事着手前に発注者に対して月単位の週休2日に取り組む旨の協議を行い、協議が整った場合に月単位の週休2日での施工を行う工事である。なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても通期の週休2日による工事の施工に努めること。
- 3) 月単位の週休2日とは、対象期間の全ての月において、土日・祝日に関わらず、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状況をいう。
対象期間は、契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間をいう。
なお、年末年始6日間及び夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは対象期間に含まない。
工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする期間を決定するものとする。
- 4) 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
- 5) 月単位の4週8休とは、対象期間内の全ての月度に現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」）が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。
- 6) 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
- 7) 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
 1. 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
 2. 受注者は、実施結果を発注者へ報告する。
- 8) 週休2日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- 9) 現場の閉所状況に応じて、以下の補正係数を、労務費に乘じる。
週休2日補正は、下記ホームページによる。（北海道建設部建築局計画管理課 営繕工事における働き方改革の取組）
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kkr/hatarakikataikaku.html>

週休2日を実施出来なかった場合の対応

月単位の4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日28以上）を前提に補正係数により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正して予定価格を作成しており、通期の4週8休に満たない場合は補正係数を除し、請負金額のうち労務費補正分を減額変更するものとする。

- 10）週休2日の実施計画書提出後、当該工事の全体工期については、影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内での期限を設ける必要がある場合は、対象期間外と出来る場合があるので、受発注者間協議を行うこと。